



トヨタ プリウスα

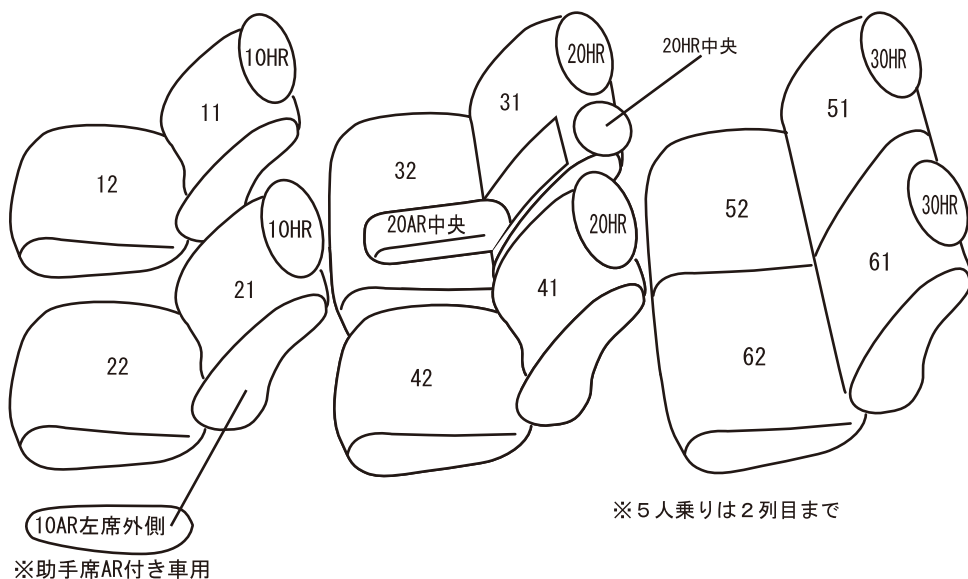
専用シートカバー取付説明書

この度は弊社製品をお買い上げ頂きまして、誠に有難うございます。

- * 説明書内にシートカバーの取付・取り扱い・返品等に関する注意事項等が記載されていますので、装着前に必ずお読み下さい。
- * 本書中の掲載写真はサンプル品を使用しているため製品とデザインは異なります。

1134/1601

本製品シート形状とパーツの名称



取付必要工具



工具名

- ① ソケットレンチセット
- ② +ドライバー
- ③ ヘラ

シートカバー装着前に必ずお読みください

- 本製品が届きましたらシートカバーを装着される前に内容物を確認の上、必ずお客様のお車に仮合わせ（シートに装着せずに）して、お客様のシートパターンに合うことをご確認ください。シートカバーの各部品がどの位置かが分かるように、番号の入ったタグが商品の裏側に付いています。仮合わせの時点で、製品に何らかの支障があった場合は、お買い上げいただいた販売店、または弊社までご連絡ください。
事前に連絡が無く装着された後での、製品の返品・交換等につきましてはお受け出来ません。また、お客様の注文間違いによる製品の返品・交換等は、商品到着後1週間以内とさせていただきますので予めご了承ください。※カスタムオーダー、特注パーツ、受注生産品などは、装着前であっても返品や交換等をお受け出来ません。
- 梱包や運送の過程で本製品に使われている素材にシワができることがあります。正常に取り付けを行っていただくことで生地がなじみ、シワはある程度解消できますが、まれに跡が残る場合がありますので予めご了承ください。シワが気になる場合は、装着前にお買い上げいただいた販売店、または弊社までご連絡ください。
- 本製品は純正シートの機能（チャイルドシート固定フックやバックテーブル等）を損なわないように設計しております。（一部例外はあります）その為、背もたれや座面に穴開け加工をしているタイプのシートカバーがあります。
- 注文したものと違う商品が届いたり、製造上の不良または運送中に生じた内容物の破損がありましたら、ご購入された販売店までご連絡ください。商品交換もしくは修理対応させていただきます。※交換対応商品が在庫切れの場合は多少お時間をいただく場合があります。予めご了承ください。
- 内容物に影響がない外装箱の破損、商品の細かい傷、シワ等は初期不良の対象外とさせていただきます。また装着後の商品は仕様違い及び初期不良を除き、返品・交換等致しませんので装着前に必ず確認等してください。また、装着時に加工等された商品に関しましても返品・交換等は致しませんので予めご了承ください。
- 座席への密着度が非常に高い設計となっている為、シートカバーの使用期間中に座席本体にダメージを与える場合があります。この点をご理解の上、ご使用ください。
なお、シートカバー装着に起因するダメージに対する補償は致しませんので、予めご了承ください。
例）座席本体に生じた傷、破れ、摩擦痕、シワ、ヘコミ、変形、変色、化学変化等

本製品に関する注意事項

- 本革やジーンズ等の染料を使用している素材や、新聞紙等の印刷物を長時間接触させると、本製品に色移りや本革等に粘着が生じることがあります。また衣類製品側にも色移りが生じる場合があります。
- 本製品を直射日光に長時間当てると、生地が表面が変化・変形・変色の原因となります。また、高温多湿の環境下では生地が硬化や収縮、カビが発生することがあります。
- 本製品は石油を原材料として使用しているため、臭いがかつく残る場合があります。装着されてから約1〜2週間で臭いは緩和されますが、気になる場合は本製品を換気の良い所に1週間程保管されてから装着してください。また本製品は塩化ビニールレザーを使用しています。燃焼時には塩化水素が発生します。廃棄される場合は個人で焼却せずに必ず自治体の処理方法に従ってください。

シートカバー装着時の注意事項

- 弊社のシートカバーはフィッティングを重視して設計しています。カバー全体に均一に力をかけるようにして、装着してください。またシートカバーを固定するパーツは強く引っ張りすぎると抜けたり切れる恐れがありますので、ご注意ください。
- ヘッドレストやアームレストといった小物類は、普通のシートに比べてカバーに負荷が掛かりやすくなっている為、カバーが破れないように慎重に作業を行ってください。
- シートカバーの背もたれ上部に加工しているヘッドレストの穴は、生地の種類によっては伸びにくいものもあるため、無理に入れ込もうとすると破れる恐れがあります。
- 取付説明書の順番通りにシートカバーを装着していただくと、作業がスムーズに進みますので、弊社では順番通りの装着をお勧めしています。またシートカバーの装着は明るく、地面が平らなスペースで行ってください。装着時に長時間車内のライト類を点灯状態（扉を開放されたまま等）にされるとバッテリーがあがったり弱まる原因となります。
- 製品の改良等により、本取付説明書の記載内容と一部製品の仕様が異なる場合があります。その際はご迷惑をおかけしますが弊社までお問い合わせください。
- 弊社のシートカバーは純正シートの機能を損なわないように設計していますが、シートカバーを装着することにより、シートにカバーの厚みが増す、カバー同士の摩擦が生じる等の原因で、シートの正常な動作を妨げる場合があります。
- 装着時（シート本体のパーツを取り外す場合等）及び、使用時に起きた車輛への損傷、車輛の不具合人体への怪我（シートカバー装着時に、シート本体の金属部分やプラスチック部分に接触する等して怪我をする恐れがあります）について、弊社では一切責任を負えませんので、十分に安全に注意し、装着を行ってください。

またいかなる場合でも商品代金と送料の合計金額を保証の上限とし、それ以外の保証は出来ませんので、予めご了承ください。購入に付随する、商品の交換、装着、取り外し等の工賃、装着等の不具合による工賃等の費用負担、交通費、遺失利益などの直接、間接の損害につきましても一切の責任を負いませんことをご理解ください。

「快適空間創造企業」



株式会社 イレブンインターナショナル

〒580-0016 大阪府松原市上田8丁目15番12号

TEL 072-330-8000

⚠ 警告 サイドエアバッグについて

■SRSサイドエアバッグ装備車にシートカバーを装着される場合、正しい適合に合ったシートカバーを正しく装着出来ていないと、衝突時などにサイドエアバッグが正常に作動せず、重大な傷害を負うか、最悪の場合死亡につながる恐れがあり危険です。

※サイドエアバッグの対応基準は、正式な安全基準が無いため（※2024年3月現在）弊社独自の安全基準を設けております。

本製品は1列目背もたれの両横部分とSRSサイドエアバッグ展開部分に、SRSサイドエアバッグに対応した縫製系を使用しています。（SRSサイドエアバッグの有無に関わらず全製品）

その部分は他の部位に比べて縫製系が切れやすくなっています。装着時には過度の力がかけられないようご注意ください。

⚠ 注意 ⚠

サイドエアバッグが装備されているシートでは、シートカバーの装着が正確にできていないと、サイドエアバッグが開かない可能性があり、危険です。シートカバーの装着は説明通り、正確に行ってください。

ここからはサイドエアバッグ装備車にシートカバーを取り付ける際、注意する点を説明しています。



1 SRSサイドエアバッグ展開部分は、シートの表面と側面の境界線に位置し、図の縫い目に配置されます。



3 サイドエアバッグの展開部分と、シートカバーのSRSサイドエアバッグに対応した縫製系を使用している縫い目の位置（以降SAB対応の縫い目部分）を合わせます。※シートのサイドエアバッグ展開部分にはシートカバーの縫い目が必ず存在します。その縫い目はSRSサイドエアバッグに対応した縫製系を使用しています。



2 シートを上から見た状態です。通常、サイドエアバッグ展開部分はシート表面と側面の境界に位置し、一般的には角ばった形状をしています。サイドエアバッグ展開部分はその角の頂点に位置します。



4 シートカバーをシートに取り付ける際は、シートカバーを半分ほど裏返し、シートのサイドエアバッグ展開部分とカバーのSAB対応の縫い目部分を合わせてから、カバーを装着します。



- 5 4番の図を拡大したものです。シートのサイドエアバッグ展開部分と、シートカバーのSAB対応の縫い目部分を合わせてください。



- 6 シートカバーをシート全体に取り付ける際は、5番の位置がずれないように、カバーをシート全体にかぶせます。



- 7 説明書に従って、シートカバーを正しく取り付けます。サイドエアバッグ展開部分とSAB対応の縫い目部分が合っているか確認します。



- 8 まず、シートの表面の中央と端の境目になる縫い目を指で押して、シートのくぼみにカバーの縫い目がしっかりと合っているかを確認します。



- 9 次に、シートカバーの表面側と側面側の生地を図のように引き伸ばし、カバーのSAB対応の縫い目部分が、サイドエアバッグの展開位置となる角ばった形状(2番参照)の角に位置することを確認します。この位置が合っていれば、シートカバーは正しい位置に装着されています。SAB対応の縫い目部分が側面側にずれていたりすると、サイドエアバッグの展開部分と位置がずれていることとなります。位置が合っていない場合はカバーの装着をやり直してください。



- 10 正しくシートカバーを取り付けることで、サイドエアバッグがシートカバーから正常に展開します。

1 列目運転席側座面



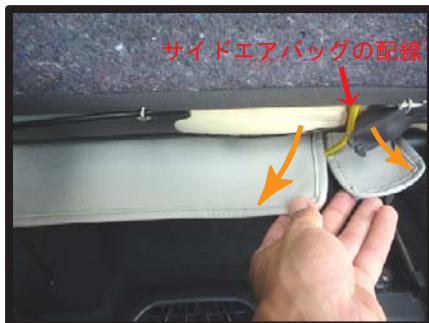
①始めにシート背面からシート裏に回っているカバーを外します。カバーはゴムでシート裏に引っかけて固定されているので、ゴムの引っ掛けを外して、カバーを外します。



④背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。生地は背もたれの角度を調整して、入れ込みやすい位置で行ってください。



②カバーを裏返してシートのラインに合わせます。



⑤図の黄色い配線はサイドエアバッグの配線です。シート背面から配線をかかわして生地を引き出します。



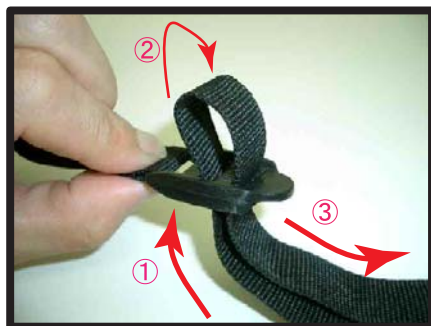
③シートのラインからずれないようにカバーをシート全体にかぶせます。



⑥カバー外側のプラスチックの板を、シートとシートの土台のプラスチック部の隙間に入れ込みます。



⑦カバー内側に付いているマジックテープを、シートに直接貼り付けて固定します。



⑩ベルトは①→②→③の手順で、まずバックル中央に通し、折り返してバックルの端に通します。通したベルトを引くとカバーの前後を引き絞り固定されます。



⑧カバー前方に付いているベルトを、リクライニングレバーの上を通してシートの背面へ回します。



⑪1ページの⑤で引き出した端の生地には、ゴムが付いています。ゴムに付属のS字フックを取り付けて、シート裏の金属部分に引っかけて固定します。



⑨ベルトをシート背面から引き出して1ページの⑤で引き出した生地についているバックルに通して固定します。

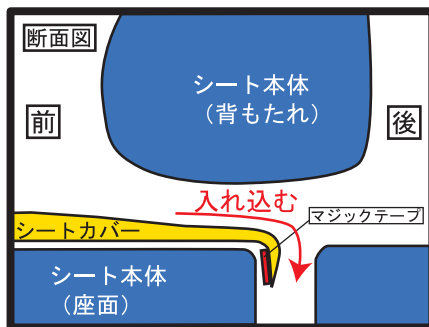


⑫シートのラインを整えて、1列目運転席側座面の完成です。

1 列目助手席側座面



①カバーを裏返してシートのラインに合わせます。



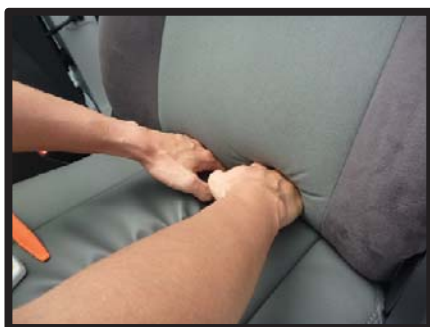
④シートカバーの生地を入れ込みます。



②シートのラインからずれないようにカバーをシート全体にかぶせます。



⑤座面後方の左右にマジックテープのベルトが付いています。



③シートを車外へ少し出し、背もたれと座面の隙間に、図④のように生地を入れ込み、マジックテープで直接シートに貼り付け固定します。



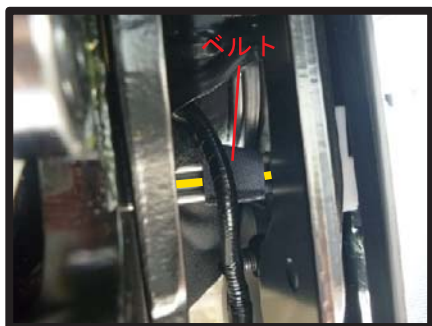
⑥ベルトを座面の付け根部分にある金属バーの手前の隙間に落とし込みます。



⑦落とし込んだベルトを、矢印のように金属バーに巻き付けます。
※座面下から見た画像です。



⑩シートのラインを整えて、1列目助手席側座面の完成です。



⑧巻き付けたマジックテープ同士を貼り付けて固定します。



⑨カバー側面の生地をシートとプラスチックカバーの隙間に入れ込みます。

1 列目運転席側背もたれ



注意

サイドエアバッグ装着車の装着方法は表紙から4枚目と5枚目の『警告：サイドエアバッグについて』と『注意』の装着説明を併せて確認し正確にシートカバーを取り付けてください。



- ①カバーを半分程裏返して、シートのラインに合わせてかぶせます。シート肩口の生地が張るようにしっかりとかぶせて下さい。



- ②1ページの①で外したカバーを、めくり上げて背もたれカバーの中へ入れ込みます。



- ③シートのラインからずれないようにカバーを左右均等に引き下げ、シート全体にかぶせます。



- ④背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。



- ⑤シート背面からサイドエアバッグの配線をかかわして生地を引き出します



- ⑥ヘッドレストの台座をカバーの加工穴から取り出します。始めに台座の片側のフチに、生地をしっかりと入れ込みます。



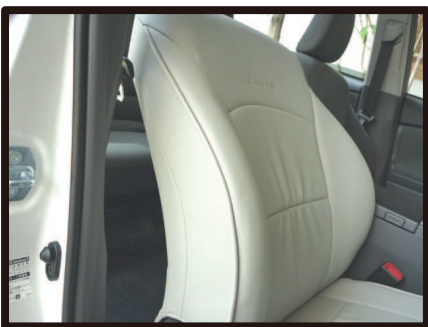
⑦生地の伸びを利用して台座を取り出します。



⑩シートの中央へ寄った生地を、シートに密着させるように撫で下ろします。ここで3ページの⑤で引き出した生地を再度引き直すと、余った生地がシート背面から引き出され、カバーがよりシートに馴染んでいきます。



⑧シート側面の張り出し部分です。カバーをシートに馴染ませます。始めに矢印方向へカバーを撫で下ろします。



⑪⑧～⑩の作業を繰り返して行なうことで、シート側面のカバーがたるみ無くシートに馴染みます。



⑨⑧の作業でカバー側面に余った生地を、今度はシートの中央へ寄せていきます。



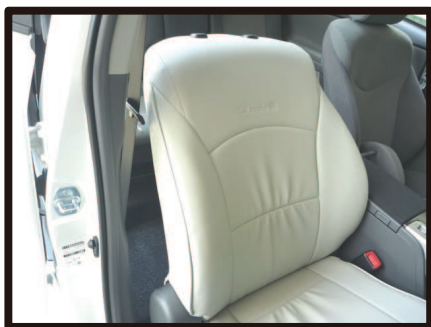
⑫3ページの⑤で引き出した生地と、カバー背面下の生地をマジックテープで固定します。

⚠ 注意 ⚠

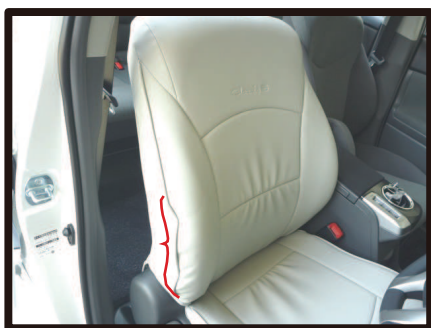
サイドエアバッグが装備されているシートでは、こちらの固定が正確にできていないと、サイドエアバッグが開かない可能性があります。危険です。



- ⑬カバー背面下に付いている生地に、付属のS字フックを取り付けます。S時フックはシート裏の金属部分に引っかけて固定します。



- ⑭サイドエアバッグの展開部分とシートカバーのSAB対応の縫い目部分が合っていることを確認して下さい。カバーのラインを整えて、1列目運転席側背もたれの完成です。

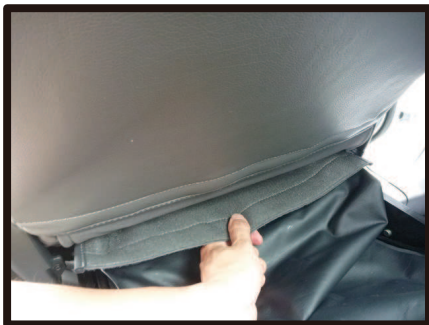


- ⑮こちらはカバーの取り付けの良くない例です。側面のシワが取れていません。4ページの⑧～⑩の作業をしっかり行ない、生地をシートにしっかりと馴染ませて下さい。

1 列目助手席側背もたれ



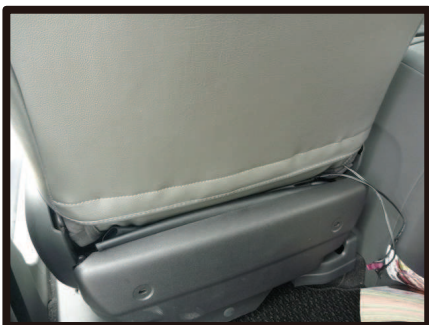
①カバーを半分程裏返して、シートのラインに合わせてかぶせます。シート肩口の生地が張るようにしっかりとかぶせて下さい。



④入れ込んだ生地をシート背面から引き出します。



②シートのラインからずれないようにカバーを左右均等に引き下げ、シート全体にかぶせます。



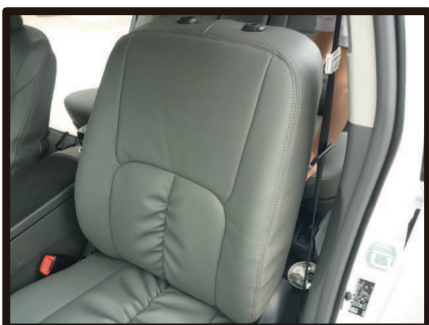
⑤引き出した生地を、カバー背面下の生地とマジックテープで固定します。

⚠ 注意 ⚠

サイドエアバッグが装備されているシートでは、こちらの固定が正確にできていないと、サイドエアバッグが開かない可能性があります。危険です。



③背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。



⑥サイドエアバッグの展開部分とシートカバーのSAB対応の縫い目部分が合っていることを確認して下さい。シートのラインを整えて、1列目助手席側座面の完成です。

※助手席アームレスト装備車は、カバーに穴開け加工が必要になります。

2列目座面



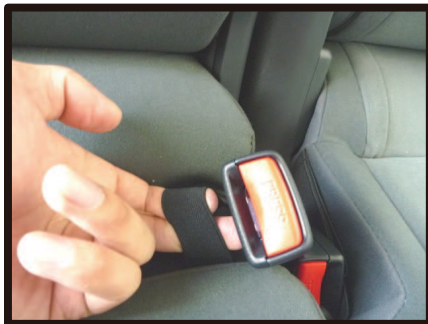
⑦ 21 ページを参照し、アームレストを取り外します。
次にカバーをかぶせた状態でアームレスト取り付け部の突起と穴のある箇所に印を付けます。(2ヶ所)



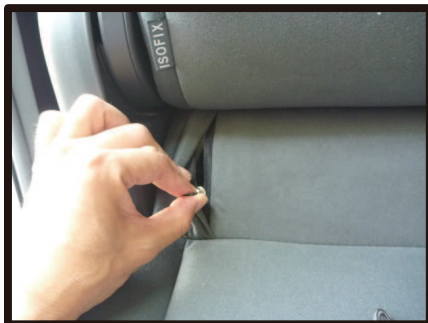
⑧ ⑦ で付けた印を結ぶように、カッターなどで切れ目を入れます。
※カバーを切る際に、シート本体を傷付けないように注意して下さい。



⑨ ⑧ で入れた切れ目を元に、はさみなどで、図のようにカバーを切ります。
※カバーを切りすぎないように注意して下さい。



① シートベルトバックルを固定しているゴムから外します



② チャイルドシート固定用のバーがある部分のファスナーを開けます。
こちらはグレードによりファスナーが付いていない車両もあります。ファスナーが付いていない場合は、生地をめくってチャイルドシート固定用バーが見える状態にして下さい。



③ ② で開けた穴にカバー裏に付いているベルトを通します。ベルトはシート裏から取り出しますが、真っ直ぐに入れるとシート裏のカバーにあたりますので、ベルトを奥に入れ込み底に突き当たると向かって左側へベルトを寄せます。



④内側の穴にもベルトを通します。内側はベルトが底に当たると、向かって右側へベルトを寄せます。



⑦カバーを裏返してシートのラインに合わせます。



⑤シートベルト、シートベルトバックルが収納されている部分にもベルトを入れ込みます。こちらは真っ直ぐ入れ込むと、ベルトが通る隙間があります。←注・狭いです。



⑧シートのラインからずれないようにカバーをシート全体にかぶせます。



⑥③～⑤で入れ込んだベルトを、シートを前方にスライドさせて、シートの背面から引き出します。引き出したベルトはシート裏を通して、シート前方へ回します。



⑨背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。生地を入れ込む際に、部材のフックでシート地を傷付けないようにご注意ください。



⑩背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。



⑬⑧で引き出した生地に付いているプラスチックフックをシート裏に引っかけて固定します。



⑪入れ込んだ生地をシート背面から引き出します。



⑭フックはシート地を固定しているフックの上から引っ掛けて固定します。



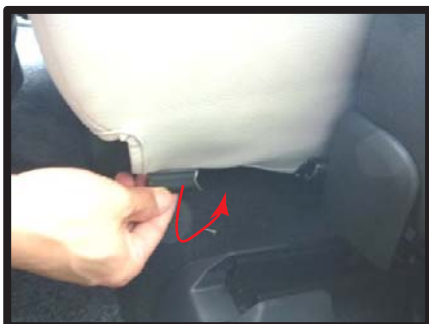
⑫センターアームレストの背面部分はチャイルドシート固定用のバーのある位置に、カバーの加工穴を合わせて、マジックテープで直接シートに



⑮カバー側面のプラスチックをシートとシートの土台のプラスチック部の隙間に入れ込みます。



⑯シートの付け根部分の生地を、ヘラなどを使用してシートとプラスチック部の隙間に入れ込みます。



⑰カバー内側面に付いているプラスチックフックを11ページの⑭を参考にシート裏で固定します。



⑱10ページの⑥で入れ込んだベルトをシート前方から引き出します。引き出したベルトは、シート前方のバックルに通して固定します。



⑳カバーのラインを整えて、2列目運転席側座面の完成です。



㉑カバー前方に付いているプラスチックフックをシート裏で固定します。



㉒助手席側のカバーには、シートベルトバックル収納部分の生地下に、ゴムが付いています。ゴムはシート裏に引き出して、シート裏に引掛固定します。運転席側のカバーとの違いは、助手席側には内側面のフックは付きません。その他は同様に固定して、取り付けを行って下さい。

2列目背もたれ

シート肩口レバー部分の装着方法 (①②③⑷⑸) は、7人乗りの車のみご確認下さい。



- ①始めにシートの肩口にある、レバーの固定を緩めておきます。
図のプラスチックのフチに細い針のようなものを隙間に入れて、プラスチックのフタを外します。
※プラスチック部に傷を付けないようにご注意ください。



- ②プラスチックのフタを外すとネジが2本あります。



- ③ネジをドライバーを使用して緩めます。ネジは完全に外してしまうと、元に戻しにくくなりますので、緩める程度で留めておいて下さい。



- ④カバーの加工穴にアームレストを通します。



- ⑤シートのラインからずれないようにカバーをシート全体にかぶせます。



- ⑥背もたれと座面の隙間に生地を入込みます。



⑦アームレスト下の生地も背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。



⑩シートの背面です。シート付け根部分に生地を入れ込み



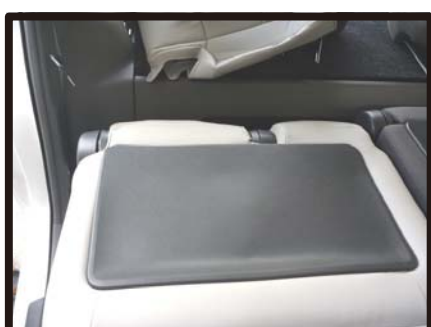
⑧入れ込んだ生地をシート背面から引き出します。



⑪シート背面のバックボードの隙間に生地を入れ込みます。プラスチックの板を入れ込むことで、生地がはみ出さずに固定されます。



⑨引き出した生地を、カバー背面下の生地とマジックテープで固定します。



⑫シート背面は図のように仕上がります。



⑬シートの内側面です。図の隙間に生地を入れ込みます。



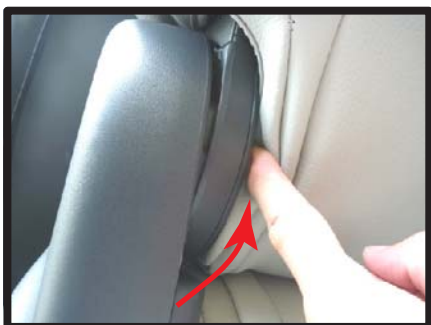
⑭シートの付け根に生地を入れ込みます。



⑮シート側面の付け根部分です。生地を隙間に食い込ませるように入れ込みます。



⑯シート肩口のレバーのフチに生地を入れ込みます。ヘラなどを使用して作業を行なって下さい。



⑰シート正面からの付け根部分です。生地を隙間に入れ込みます。



⑱レバーのフチに生地を全て入れて、レバーのネジを締め、元通りに固定して下さい。



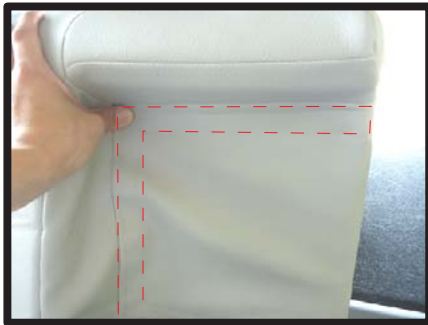
⑱ヘッドレストの台座を取り出します。



⑳引き出した生地とアームレスト収納部の下の生地を、マジックテープで固定します。



㉑アームレストの付け根に生地を入れ込みます。



㉒アームレスト収納部には、生地裏にマジックテープが付いています。マジックテープは生地を伸ばしながら、シートに直接貼り付けて固定します。



㉓入れ込んだ生地をアームレストを倒して引き出します。



㉔カバーのラインを整えて、2列目運転席側背もたれの完成です。助手席側も形状は異なりますが、同様に取り付けます。

3 列目座面



①カバーをシート前方から後方へかぶせます。シート前方の角の部分の生地が張るように、カバーをかぶせて下さい。



④シートを倒して②で入れ込んだ生地を引き出します。



②背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。



⑤引き出した生地に付いているベルトを、シート裏を通して前方に回します。



③ハッチを開けてラゲージボードを外します。そして図のデッキアンダートレイを取り出します。



⑥シート前方からベルトを引き出してバックルに通して固定します。



⑦カバー側面にプラスチックフックが付いています。

※生地裏に付いているプラスチックフックは、2列目座面のカバーと固定方法が異なります。



⑩折り返したフックを下から上へ引っ掛けるようにして、シートの手触に固定します。

※図のシートの手触は仮のものです。



⑧ここからは分かりやすいように断面図で説明します。



⑪カバー内側面です。矢印の部分がフックで固定している部分です。表面からは固定したフックは一切見えない状態になります。



⑨フックは生地と共に180度折り返します。



⑫カバーのラインを整えて、3列目運転席側座面の完成です。助手席側も同様に取り付けます。

3 列目背もたれ



①カバーを半分程裏返して、シート
のラインに合わせてかぶせます。シート
肩口の生地が張るようにしっかりと
かぶせて下さい。



④レバーのフチに生地を入れ込みます。



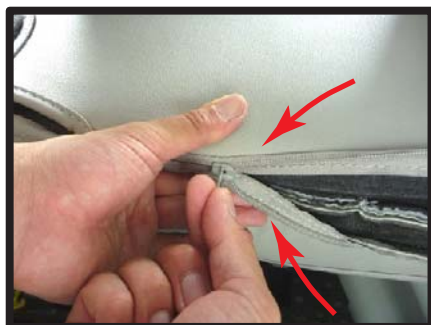
②カバーを左右均等に引き下げます。
背もたれと座面の隙間に生地を入れ
込み、シート背面から引き出します。



⑤シート背面のベルトをカバーの加工
穴から取り出します。



③肩口のレバーのネジをドライバーで
緩めます。



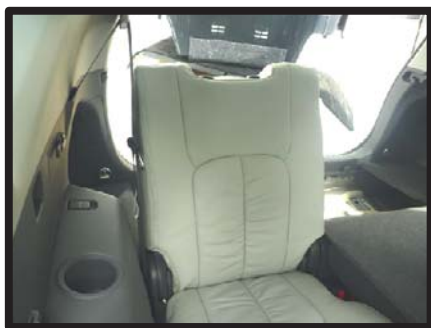
⑥②で入れ込んだ生地と、カバー背面
下をファスナーで固定します。ファ
スナーは生地を内へ寄せながら慎重
に閉じて下さい。



⑦カバーからはみ出しているファスナー一部分を、カバーの中へ入れ込みます。



⑧シート背面は図のようになります。



⑨カバーのラインを整えて、3列目運転席側背もたれの完成です。助手席側も同様に取り付けます。

1 列目アームレスト

※助手席アームレスト有り車用



①ヘラなどを使用し、アームレストに付いているキャップを外します。



④取り外した逆の手順で、アームレストを元に戻します。
この時、図のようにカバーの生地を半分めくりあげて作業します。



②ソケットレンチなどを使用し、アームレストを固定しているボルトを外します。



⑤アームレストを元に戻したら、めくりあげていた生地を包み込むようにかぶせます。



③カバーを半分程裏返して、アームレストのラインに合わせてかぶせます
アームレストの先端までしっかりと生地が張るようにかぶせて下さい。 — 2 1 —



⑥カバーのラインを整えて、1 列目アームレストの完成です。

2列目アームレスト



- ①カバーを半分程裏返して、アームレストのラインに合わせてかぶせませすアームレストの先端までしっかりと生地が張るようにかぶせて下さい。



- ④③で入れ込んだ生地を引き出します。



- ②アームレストのラインからずれないように、アームレスト全体にカバーをかぶせます。



- ⑤カバーをプラスチックフックで固定します。アームレストを倒した際に上になる生地を折り返して、④で引き出した生地についているフックに挟み込むようにします。



- ③アームレストの付け根部分から生地を入れ込みます。図の手の位置を支点として、アームレストを倒します。生地と手が少し奥に入り込みます。その位置を維持したまま、さらにアームレストを倒す、起こすを繰り返すと、徐々に生地が入り込みます。



- ⑥プラスチックフックの固定方法は、カギ状のフックに平らな方のプラスチックを、生地と共にはめ込み固定します。



⑦プラスチックフックを固定すると図のように収まります。



⑧アームレストの付け根部分の生地を図の隙間に入れ込みます。



⑨カバーのラインを整えて、2列目アームレストの完成です。

1 列目ヘッドレスト



①カバーを裏返して、ヘッドレストのラインに合わせます。ヘッドレストの先端まで、しっかりとカバーをかぶせます。



④ヘッドレスト裏は図のように収まります。



②ヘッドレストのラインからずれないようにカバーを左右均等に引き下げヘッドレスト全体にカバーをかぶせます。



⑤ヘッドレストをシートに戻して、カバーのラインを整えます。
1 列目ヘッドレストの完成です。



③ヘッドレストをシートから外します。ヘッドレスト裏でアームレストと同様に、プラスチックフックで固定します。

2、3列目ヘッドレスト



① 2、3列目ヘッドレストは、ヘッドレストの先端部分から矢印の方向へかぶせます。

※図は2列目ヘッドレストです。



④ プラスチックのフックを固定すると2列目ヘッドレスト裏は図のように収まります。



② ヘッドレストの角を少し指で押し潰しながら、慎重にカバーを全体へかぶせます。

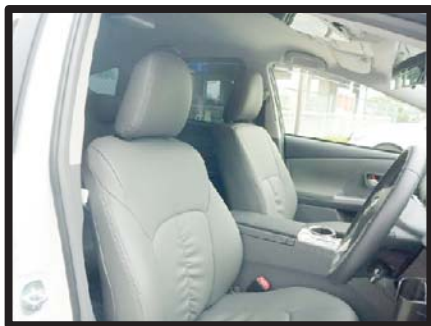


⑤ ヘッドレストをシートに戻して、カバーのラインを整えます。
2列目ヘッドレストの完成です。
3列目ヘッドレストも同様に取り付けます。



③ ヘッドレストをシートから外します。ヘッドレスト裏のマジックテープを生地を内へ寄せながら留めます。

完成図



1 列目運転席側



2 列目アームレスト使用時



1 列目助手席側



2 列目背面



2 列目



3 列目

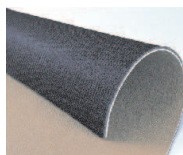


After Service

皆様の快適カーライフのために、安心できるアフターサービス

● 保証・単品パーツ販売・生地の販売

- 1 保証期間であれば、故意でない通常使用における糸切れや生地の破れが生じた場合、無償修理させていただきます。
※一部商品は対象外です。



- 2 シートカバーの補修及び単品パーツの販売をしています。

- 3 シートカバーと同色のソフトBioPVCレザーの販売をしています。
(巾135cm・メートル単位での販売となります)
キルティング仕様の生地は対象外です。



パーツ交換の際、お客様の装着期間や生地の生産時期によって若干の色の違いが見られることがありますので、予めご了承ください。

ご注文・お問合せは

株式会社 イレブンインターナショナル

〒580-0016 大阪府松原市上田8丁目15番12号

TEL 072-330-8000

…> 生地別メンテナンス方法

ウルトラスエード

●ほこりや毛羽などの付着汚れ

エチケットブラシで軽くブラッシングして取り除いてください。

●全体の汚れが気になる場合

40度程度のぬるま湯に染みこませ固く絞った布で全体を拭いてください。乾いたらエチケットブラシで毛並みを整えるようにブラッシングしてください。

この作業は月一回くらいの頻度で行うと効果的です。



本革

普段は柔らかい布でやさしく拭き掃除をしてください。または、市販されている本革クリーナーをご使用ください。クリーナーは直接吹き付けるのではなく、やわらかい布などにつけてからご使用ください（クリーナーの説明書に従ってください）。また、使う前に必ず目立たない部分で試し拭きをしてください。万が一変色したり風合いが変わってしまったりした場合、元には戻りません。

⚠️ ご注意

本革は非常にデリケートな素材です。熱や水に弱く、シミができたり変色してしまったりします。水やジュースなどをこぼした場合はすぐに拭き取り、お手入れを行って下さい。長時間放置しておくとも汚れやシミが取れなくなります。表面に積もったほこりは汚れの原因になる為、掃除機でこまめに吸い取って下さい。



PVCレザー

柔らかい布で乾拭きをしてください。

それでも汚れが取れない場合は水、もしくはぬるま湯で薄めた中性洗剤で拭き取り、水拭きをしてから乾いた布で乾拭きして下さい。



ファブリック

●ほこりや毛羽などの付着汚れ

ブラシ等で軽くブラッシングして取り除いてください。

●シミ汚れ

ぬるま湯を入れた容器の中に中性洗剤を数滴入れ、その中に布を浸したら固く絞って汚れ部分をたたくように掃除します。洗剤を入れすぎると泡立ちすぎるので、適度な量にしてください。掃除をした後は、洗剤が残らないようにしっかりと水拭きします。また、水分が残ったまま放置すると汚れやカビの原因となりますのでしっかりと乾燥させてください。

※テニム生地の場合は、拭きすぎると色落ちの原因となります。一度色が落ちると元には戻りません。また、メンテナンス時に発生したダメージに対する補償は致しませんので、予めご了承ください。

